

メイトルのつばやき No.13



《 イスラエルの小学校時代 》

少しずつ寒くなってきましたね。「冬が近づいてきたなあ」と感じる今日このごろです。

私は日本の冬といえば温泉を想像します。私は温泉が大好きで、その中でも“露天風呂”に強くひかれます。温泉に入った後はお肌がツルツルになりますね。

イスラエルには温泉はないので、私にとって“日本の温泉”はとてもめずらしい体験です。日本にいる間は毎年、この時季になると温泉へ行きます。温泉に入ってリラックスしていると、いつも子どものころを思い出します。

私が小学生だったころ、イスラエルでは、小学校へ6歳で入学し14歳で卒業しました。中学校はなかったので、卒業後は高校へ入学しました。小学校時代はとても貴重な経験で、素晴らしい思い出を作りました。

日本の学校の休日は土曜日と日曜日ですが、イスラエルは土曜日だけです。イスラエルの一週間は月曜日ではなく日曜日から始まります。子どもは日曜日から金曜日まで学校で勉強します。

私は、5年生から7年生までの間に、毎週3つのおもしろい授業を受けました。

1つ目の授業は“海”についてです。ボート操作を勉強したり、海で水泳も学びました。私の故郷は海に面した街なので、海は生活に不可欠なものです。毎週この授業を楽しみにしていました。

2つ目は“農業”についてです。その日はバスで農場へ行き作業をします。イスラエルで収穫できる農作物の知識を広げることができました。

3つ目は“木工技術”についてで、木工技術の基礎を学びました。

この3つの授業は実習をまじえたものでしたので、とても楽しく学ぶことができました。



イスラエルの授業はお昼で終わります。みんな午前中に自宅から持ってきたサンドイッチや果物を食べ、帰宅後に昼食を食べます。サンドイッチの中身は、チーズ、卵、野菜、チョコレートなどです。私は毎日、母にサンドイッチを作ってもらいました。お弁当箱を開けるのが楽しくて、開ける前に、サンドイッチに、はさんである具を予想していました。

また、小学校時代の貴重な思い出に大好きなお祭りがあります。それは3月のプーリムというお祭りです。そのおまつりで子どもたちはいろいろな仮装をします。仮装をすることで私は一日だけ好きなキャラクターになることができました。たとえば、女王、ハワイアンガール、魔術師などです。いつもプーリムの日には仮装パレードに参加しました。仮装の他に、プーリムの贈り物があります。その日は2人のクラスの仲間に菓子を渡さなければなりません。そして、学校でもいろいろなおもしろいイベントが行われました。たとえば、ビンゴゲーム、仮装コンテストなどです。プーリムは素晴らしいお祭りです。プーリムの日は授業がないのでとても喜んでいました。ただ、プーリムの日に雨が降ると、仮装した私たちはすこし残念な気持ちになりました。

さて、みなさんは子どものころ、小学校の休み時間にどんなゲームをしましたか？

イスラエルは、午前10時30分から11時までの30分間、休み時間があります。男の子の一番人気はサッカーで、女の子は縄跳びや、いしとりが人気でした。



そしてもちろん、イスラエルでも“じゃんけん”をやりました。日本と同じように“じゃんけん”は、遊びの順番や勝ち負けを決める時に使います。

そんな小学生のころ、私は日本文化と出会い興味を持ちました。5年生の時、地理の授業で世界の一つの国についてレポートを書くことになり、私は日本のことについて調べました。日本は幼い私の目に、自国とまったく異なった文化や習慣を持つ異国情緒たっぷりの国に映りました。そのレポートを通じて日本の魅力についてももっともっと知りたいと思うようになりました。だから私は小学校時代を思い出す時、いつも笑顔がこぼれています。

メイトルさんへの質問は
meital@town.yaotsu.lg.jp
 までどうぞ！